

科目名	社会政策					単位	2.0
担当教員	渡邊 幸良						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	5115

●授業のテーマ

社会政策の理論や対象・理念などを理解する

●到達目標

現代社会に生じている社会問題、特に労働問題を中心に、社会政策の理論を理解しながら、労働・生活・社会という視点から考察し、社会に必要な知識を修得します。そして、現代社会に特有の労働問題を取り上げ、国による国民に対する労働者保護立法の機能と役割を理解します。

●学習内容(授業概要)

労働問題に対処する社会政策の理論を、生活問題に対処する社会福祉・社会保障との対比で理解し、社会問題に対処するソーシャルポリシー（社会福祉政策）を理解してゆく。そして、将来、大学を卒業して労働者として働くゆくうえでぶつかるであろう、現代社会の労働問題を具体的に取り上げ、その問題点と対処方法を考える。ところで、労働時間、失業、非正規雇用、労使関係、ワークライフバランスなどがキーワードになっている。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 社会政策とは何か テキスト 2～13 ページ
2. 社会政策の現代的課題 テキスト 14～27 ページ
3. 賃金とは何か テキスト 28～37 ページ
4. 各種の賃金格差・賃金差別 テキスト 38～47 ページ
5. 生活時間と労働時間 テキスト 48～57 ページ
6. 休日・休暇制度の実際 テキスト 58～69 ページ
7. 顕在的失業と潜在的失業 テキスト 70～79 ページ
8. 業務請負、個人業主、テレワーク テキスト 80～91 ページ
9. 労使関係とは何か テキスト 92～101 ページ
10. 大企業の内部における日本的労使関係の形成と展開 テキスト 102～111 ページ
11. 高齢社会 テキスト 112～131 ページ
12. 社会保障 テキスト 132～159 ページ
13. 男女平等をめぐる視点 テキスト 160～169 ページ
14. ワークライフバランスの現状と課題 テキスト 170～183 ページ
15. 外国人労働者 テキスト 184～205 ページ

●準備学習・事後学習の内容

「学びあい×キャリアポートフォリオ」の「レポート」を利用して、毎回の授業前日までに「準備学習」の課題に回答し、さらに、毎回の授業後6日以内に「事後学習」の課題に回答しなさい。

●成績評価方法・基準

準備学習・事後学習 30%、期末テスト 70%

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：よくわかる社会政策 第2版、著者名：石畑良太郎・牧野富夫、出版社：ミネルヴァ書房、販売先：Yショップ同朋学園店

●参考文献／その他

適宜紹介します。

●履修上の注意

授業前に、テキストの次回該当箇所を読んでください。

毎日、テレビや新聞、webのニュースを見て下さい。

授業中の質問やディベート・討議にも積極的に参加してください。